

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	031100	TEL	2998-9155
事業コード	人形協会補助金	市民経済部 商工労政課				
031118		グループ 商工振興担当				
補助開始年度		昭和	61	年度	→	終了予定年度 平成 年度

②事業の内容	根拠法令	所沢市補助金等交付規則							
	分野別計画・指針								
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	3節 工業	中柱	3 地場産業の育成	小柱	(1)「所沢ブランド」の確立
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード								
補助開始の背景	以前は航空公園内などのイベントと併せて展示会などのPR事業を行っており、市はそれに対して補助を行っていた。その後経費の捻出が困難となり展示会は廃止となったが、地場産業の育成のため経常的経費の補助を行うこととなったものである。								
補助の目的	所沢における最も有名な地場産業である人形工芸の保護・育成を図ることを目的とする。							団体への加盟数	
団体における実施事業の概要	①年に1度、所沢神明社において人形供養祭を実施する。 ②埼玉伝統工芸会館において、押絵羽子板・ひな人形の手作り実演を実施する。							単位	

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		80	80	60
	補助額決算 (見込み含む)		80	80	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.04 人	0.04 人	
	事業費合計		448	456	
	市民一人当たり(単位:円)		1.3	1.3	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	人形供養祭参加者数	人	350	400			
	成果分析	活性化事業回数	展示会・実演会などの回数	目標値	4	4		
				実績	4	4		
		%	達成率	100.0	100.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1		

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input checked="" type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	目標項目	所沢の地場産業としての認知度を高める	達成水準	展示会などの回数を増やす	時期	平成20年度	
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	地場産業の育成は、市の魅力を高める効果も見込まれる。より効果的な事業が行われるように連携を取りながら、引き続き支援していく。 予算措置は、平成20年度予算において25%の削減をしたところであり、来年度に向けては現状通りとする。						
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	商工労政課長 尾村俊和				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					